本製品を
ご購入いただいたお客様へ

添付のマニュアルをお読みになる前に、必ずこの冊子をご覧ください

本冊子では、お客様にご購入いただいた製品の仕様や注意事項について説明しています。本冊子以外のマニュアルには、ご購入いただいた製品以外の情報も記載されていますので、あらかじめ本冊子でご確認ください。

※ p.12以降に本製品のご使用に関しての注意事項が記載されていますので、必ずご確認ください。

VALUESTAR

VALUESTAR W

モデル構成表

本製品のモデル構成表は次のとおりです。
本製品の型番は、『準備と基本』第1章の「製品を確認する」をご覧になり確認してください。
本製品に添付の他のマニュアル等では型名・型番を下記のとおり読み替えてご覧ください。

<table>
<tr><th rowspan="2">マニュアル等での表記</th><th rowspan="2">本製品の型名
（型番）</th><th colspan="7">表記の区分</th></tr>
<tr><th>ディスプレイ</th><th>BD/DVD/CD
ドライブ※3</th><th>TV機能</th><th>ワイヤレス
LAN</th><th>OS</th><th>添付ソフト</th><th>カラー</th></tr>
<tr><td>VW970/CS
(PC-VW970CS)</td><td>VW978/CS01
(PC-VW978CS01)
※1※2</td><td rowspan="4">23型ワイド
ディスプレイ
モデル</td><td rowspan="4">ブルーレイ
ディスク
ドライブ
モデル</td><td rowspan="4">デジタル
ハイビジョン
TV
（地デジ/BS/
110度CS）
モデル</td><td rowspan="4">高速11n対応
ワイヤレス
LAN
（abgn）
モデル</td><td rowspan="4">Windows 7
Home
Premium
モデル</td><td rowspan="4">Office Home
& Business
2010
モデル</td><td rowspan="2">ファイン
ブラック</td></tr>
<tr><td>VW770/CS6B
(PC-VW770CS6B)</td><td>VW778/CS01B
(PC-VW778CS01B)</td></tr>
<tr><td>VW770/CS6R
(PC-VW770CS6R)</td><td>VW778/CS01R
(PC-VW778CS01R)</td><td>クランベリー
レッド</td></tr>
<tr><td>VW770/CS6C
(PC-VW770CS6C)</td><td>VW778/CS01C
(PC-VW778CS01C)</td><td>ハニー
ブラウン</td></tr>
</table>

※1：PC-VW978CS01には、HDMI/D端子が搭載されています。
※2：PC-VW978CS01は3D対応映像や3D画像に対応しています。
※3：BDとはブルーレイディスクのことです。

仕様一覧

該当する機種をご購入いただいたかたは、本体の仕様がマニュアルに記載のある製品と異なっています。そのため、添付のマニュアル『準備と基本』の「仕様一覧」にある表の項目を次のように読み替えてください。

●仕様一覧（VW978/CS01の場合）

『準備と基本』の記載

型名		VW970/CS
CPU		インテル® Core™ i5-460M プロセッサー
	動作周波数	2.53GHz（インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応：最大2.80GHz）
	キャッシュメモリ	3MB（3次キャッシュ）
メインメモリ	標準容量／最大容量	4GB（DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応）／ 8GB
表示機能	グラフィックスメモリ	最大2747MB
ドライブ	ハードディスクドライブ	約1.5TB（Serial ATA、5400回転/分）
消費電力	標準／最大／スリープ状態時	約74W ／約198W ／約4W

変更後の記載

型名		VW978/CS01
CPU		インテル® Core™ i7-640M プロセッサー
	動作周波数	2.80GHz（インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応：最大3.46GHz）
	キャッシュメモリ	4MB（3次キャッシュ）
メインメモリ※45※46※47※48	標準容量／最大容量	8GB（DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応）／ 8GB ※49
表示機能	グラフィックスメモリ※50	最大4095MB※51※52
ドライブ	SSD ／ハードディスクドライブ※53	約62GB（Serial ATA）／約1.5TB（Serial ATA、5400回転/分）
消費電力	標準／最大／スリープ状態時	約72W ／約196W ／約4W

※　45：増設メモリは、PC-AC-ME048C（4GB、PC3-8500）を推奨します。

※　46：他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。

※　47：メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。

※　48：実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。

※　49：2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。

※　50：パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。

※　51：グラフィックスメモリは、専用グラフィックスメモリとメインメモリの一部の両方を使用します。

※　52：グラフィックボード上に1024MB搭載。

※　53：1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。

●仕様一覧(VW778/CS01B、VW778/CS01R、VW778/CS01Cの場合)

『準備と基本』の記載

型名		VW770/CS6B、VW770/CS6R、VW770/CS6C
CPU		インテル® Core™ i5-460M プロセッサー
	動作周波数	2.53GHz (インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応:最大2.80GHz)
	キャッシュメモリ	3MB (3次キャッシュ)
メインメモリ	標準容量/最大容量	4GB (DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)/ 8GB
表示機能	グラフィックアクセラレータ	インテル® HD グラフィックス(CPUに内蔵)
	グラフィックスメモリ	最大1696MB
ドライブ	ハードディスクドライブ	約1TB (Serial ATA、高速7200回転/分)
消費電力	標準/最大/スリープ状態時	約69W /約162W /約3W

変更後の記載

型名		VW778/CS01B、VW778/CS01R、VW778/CS01C
CPU		インテル® Core™ i7-640M プロセッサー
	動作周波数	2.80GHz (インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応:最大3.46GHz)
	キャッシュメモリ	4MB (3次キャッシュ)
メインメモリ ※45※46 ※47※48	標準容量/最大容量	8GB (DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)/ 8GB ※49
表示機能	グラフィックアクセラレータ	NVIDIA® GeForce® GT 330M
	グラフィックスメモリ ※50	最大4095MB※51※52
ドライブ	SSD /ハードディスクドライブ※53	約62GB (Serial ATA)/約1.5TB (Serial ATA、5400回転/分)
消費電力	標準/最大/スリープ状態時	約70W /約194W /約3W

※ 45:増設メモリは、PC-AC-ME048C (4GB、PC3-8500)を推奨します。

※ 46:他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。

※ 47:メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。

※ 48:実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。

※ 49:2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。

※ 50:パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。

※ 51:グラフィックスメモリは、専用グラフィックスメモリとメインメモリの一部の両方を使用します。

※ 52:グラフィックボード上に1024MB搭載。

※ 53:1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。

VALUESTAR L

モデル構成表

本製品のモデル構成表は次のとおりです。
本製品の型番は、『準備と基本』第1章の「製品を確認する」をご覧になり確認してください。
本製品に添付の他のマニュアル等では型名・型番を下記のとおり読み替えてご覧ください。

マニュアル等での表記	本製品の型名(型番)	表記の区分				
		ディスプレイ	BD/DVD/CD ドライブ※2	メモリーカード スロット	OS	添付ソフト
VL750/CS (PC-VL750CS)	VL758/CS01 (PC-VL758CS01) ※1	液晶ディスプレイセットモデル (23型ワイド液晶[F23W2A])	ブルーレイディスクドライブモデル	7メディア対応カードスロットモデル	Windows 7 Home Premium モデル	Office Home & Business 2010 モデル

※1:3D対応映像や3D画像に対応しています。また、USB 3.0対応コネクタボード、NVIDIA® GeForce® GT 330が搭載されています。
※2:BDとはブルーレイディスクのことです。

仕様一覧

該当する機種をご購入いただいたかたは、本体の仕様がマニュアルに記載のある製品と異なっています。そのため、添付のマニュアル『準備と基本』の「仕様一覧」にある表の項目を次のように読み替えてください。

●仕様一覧

『準備と基本』の記載

型名		VL750/CS
ドライブ	ハードディスクドライブ	約1TB (Serial ATA、高速7200回転/分)
拡張スロット		PCI Express x16スロット(ロープロファイル)×1[空き:0]、 PCI Express x1スロット(ロープロファイル)×1[空き:0]、 PCIスロット(ロープロファイル)×2[空き:2]

変更後の記載

型名		VL758/CS01
ドライブ	SSD/ハードディスクドライブ※48	約62GB (Serial ATA)/約1TB (Serial ATA、高速7200回転/分)
拡張スロット		PCI Express x16スロット※49(ロープロファイル)×1[空き:0]、 PCI Express x1スロット(ロープロファイル)×1[空き:0]、 PCIスロット(ロープロファイル)×2[空き:1]

※ 48:1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。
※ 49:抜け防止ロック機構付き。

SSDについて

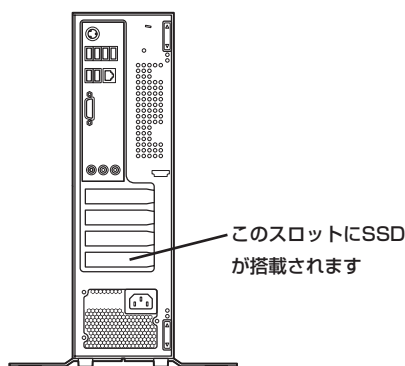
SSD(Solid State Drive)を搭載しているモデルでは、ハードディスクのほかにSSDを搭載しています。SSDはハードディスクに比べ、次のような特長を備えています。

・ データの読み書き処理が速い
・ 消費電力が低い
・ 外部からの衝撃耐性が高い

その反面、書き込み耐性が低いため、データベースのように頻繁に読み書きをおこなう作業には向いていません。

SSD使用上のご注意

SSDを搭載しているモデルでは、次の点にご注意ください。

・ SSDの寿命を縮めるため、SSDのドライブ(Cドライブ)のデフラグはおこなわないでください。
・ 画面上では「ハードディスク」と表示されます。
・ メモリを増設する場合、搭載するメモリより多い空き容量がCドライブに必要になります。Cドライブの空き容量が足りない場合は、ハイブリッドスリープの設定が自動的にオフになることがあります。コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。ハイブリッドスリープの設定については、「省電力機能を使う」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160020 で検索)をご覧ください。
・ タイプLの場合、SSDはPCIスロットに搭載されます。PCIスロットを増設する場合、誤ってPCIスロットを取り外さないようにしてください。

SSD上のデータ消去に関するご注意

SSDを搭載しているモデルでは、お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、SSD上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、金槌により物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

「データやファイルの消去」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、SSDに記録された内容が完全に消えるわけではありません。

このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、SSDから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

チェック!!

- 再セットアップディスクによるハードディスクのデータ消去は、SSDも対応しています。
- SSD上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。
- ご購入時の状態で1台目の消去を選択するとSSD、2台目の消去を選択するとHDDが消去されます。
- データ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

録画番組の保存先についてのご注意(VALUESTAR W)

録画番組は、SSDではなくハードディスクに保存されるように設定してください。
ご購入時の設定では、録画番組はDドライブ(ハードディスク)に保存されます。しかし、Cドライブの領域を変更して再セットアップすると、録画番組の保存先がSSDに変更されます。
この場合には、録画番組がハードディスクに保存されるように設定を変更する必要があります。
詳しい手順については、添付の『テレビを楽しむ本』付録の「SSDを搭載したモデルを再セットアップしたとき、Cドライブの領域を変更した場合は」をご覧ください。

再セットアップ時のご注意

再セットアップについて、マニュアル『トラブルの予防と解決』の記載と異なる部分があります。『トラブルの予防と解決』とあわせてこのページをご覧になり、再セットアップをおこなってください。

メモ

再セットアップについて→『トラブルの予防と解決』の「第4章 再セットアップする」
再セットアップディスクの作成方法→『トラブルの予防と解決』第1章の「再セットアップディスクを作成する」

●再セットアップする(Cドライブのみ)の場合

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域データ(NEC Recovery System)をCドライブ(SSD)に書き込んで再セットアップします。SSDおよびハードディスクの領域は変更しません。

SSDおよびハードディスクの領域は次のようになっています。

●Cドライブの領域を変更して再セットアップする場合(例)

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの領域サイズは、最大でSSD全体のサイズになります。
ハードディスク(ご購入時の状態ではDドライブ)のデータは変更されません。

チェック!!

・ハードディスクに保存されたデータは削除されません。
・SSDとハードディスクのすべてを1ドライブにする構成にはできません。
・ハードディスクの名前(「Dドライブ」など)が変更される場合があります。

●ご購入時の状態

SSDとハードディスクの領域

※システム回復のために、Windows RE領域として、SSDの2Gバイトを使用しています。

●SSDの領域　●ハードディスクの領域

Cドライブ

・CドライブやDドライブなどのSSDやハードディスクの区切り(領域)を、パーティションと呼びます。

●再セットアップ後の状態

Cドライブのサイズを変更できる

SSDとハードディスクの領域

※システム回復のために、Windows RE領域として、SSDの2Gバイトを使用しています。

●SSDの領域　●ハードディスクの領域

Cドライブ ご購入時と同じ内容	Dドライブ

Eドライブ (パソコンの状態によってドライブ名は異なります。)	NEC Recovery System 再セットアップ用データ

・CドライブやDドライブなどのSSDやハードディスクの区切り(領域)を、パーティションと呼びます。

●再セットアップディスクを作成して再セットアップする場合(例)

事前に作成した再セットアップディスクを使って再セットアップをします。
各再セットアップの内容は、ハードディスクに格納されている再セットアップ領域データ(NEC Recovery System)を使った場合と同様です。

●再セットアップ領域を削除する

再セットアップディスクを使って再セットアップをするときに、「再セットアップ領域を削除する」を選ぶと、ハードディスクに格納されている再セットアップ領域データ(NEC Recovery System)を削除できます。この操作をおこなうと、ハードディスクの領域を最大にすることができます。

チェック!!

- この操作をおこなうと、ハードディスク(ご購入時の状態では「Dドライブ」)のデータが失われます。
- この操作をおこなうと、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。
- この操作をする前に、Cドライブまたは、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどに、大切なデータのバックアップを取ってください。
- この操作では、SSD(ご購入時の状態では「Cドライブ」)は変更されません。
- SSDとハードディスクのすべてを1ドライブにする構成にはできません。

●ご購入時の状態

SSDとハードディスクの領域

※システム回復のために、Windows RE領域として、SSDの2Gバイトを使用しています。

●SSDの領域

Cドライブ

●ハードディスクの領域

Dドライブ

NEC Recovery System

再セットアップ用データ

・CドライブやDドライブなどのSSDやハードディスクの区切り(領域)を、パーティションと呼びます。

再セットアップ領域を削除する

●操作後の状態

SSDとハードディスクの領域

※システム回復のために、Windows RE領域として、SSDの2Gバイトを使用しています。

●SSDの領域

Cドライブ

●ハードディスクの領域

Dドライブ
(パソコンの状態によってドライブ名は異なります。)

・CドライブやDドライブなどのSSDやハードディスクの区切り(領域)を、パーティションと呼びます。

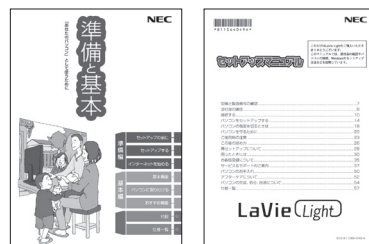
液晶ディスプレイについて
（液晶ディスプレイが搭載、または添付されているモデルのみ）

画面の一部にドット抜け※（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）や、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、**液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。**

※：社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を添付マニュアルにあります「仕様一覧」に記載しております。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

パソコンに電源を入れるときのご注意

● パソコンのセットアップ中は電源を切らない

初めてパソコンに電源を入れたときはパソコンのセットアップが始まりますが、**セットアップ中は、決して電源を切らない**でください(再セットアップ時も同様です)。初めて電源を入れるときは、必ず添付のマニュアルをご覧ください(マニュアルはお使いのパソコンによって異なります)。記載通りにセットアップしないと、正常にセットアップが完了しないだけでなく、故障につながることがあります。

※:表紙はお使いのパソコンによって多少異なることがあります。

● パソコンの状態が安定してから操作する

電源を入れたり、再起動した直後は、デスクトップ画面が表示された後も、**内蔵ドライブアクセスランプが点滅しなくなるまで何もせずお待ちください**※。
起動してパソコンの状態が安定するまでには1分～ 2分程度かかります。

※: 内蔵ドライブアクセスランプが点滅している間はWindowsが起動中です。無理に電源を切ったり、アプリケーションを起動したりすると、動作が不安定になったり、処理が重複して予期せぬエラーが発生することがあります。

電源を切る場合はマニュアルをご覧の上、「スタート」メニューから電源を切ってください。

再セットアップディスクの作成について

ご購入時の状態に戻す場合など、もしもの場合に備えて、ご購入後なるべく早く**再セットアップディスクを作成しておくことをお勧めします**(作成には市販のDVD-Rなどのメディア、さらにモデルによっては別売のDVDスーパーマルチドライブ(PC-AC-DU005C)が必要になります)。再セットアップディスクは販売もしています。

チェック!! 再セットアップの方法や再セットアップディスクの作成、購入先
マニュアル『トラブルの予防と解決』または『ユーザーズマニュアル』の再セットアップに関する項目をご覧ください(マニュアルはお使いのパソコンによって異なります)。

パワーオフUSB充電機能対応USBコネクタ使用時のご注意

（パワーオフUSB充電機能対応USBコネクタ搭載モデルのみ）

パワーオフUSB充電機能対応USBコネクタ搭載モデルには、通常のUSBコネクタ（ / ）と、パワーオフUSB充電機能対応（ / ）のコネクタがあります。

パワーオフUSB充電機能対応のコネクタ（ / ）に機器を接続していると、スリープ状態から復帰後、約10秒程度、USBコネクタに接続した機器が反応しない場合があります。その場合は、しばらく待ってから操作していただくか、通常のUSBコネクタ（ / ）に接続してください。

チェック!! USBコネクタの位置について

電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」の「機能を知る」-「各部の名称と役割」または電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」をご覧ください（電子マニュアルはお使いのパソコンによって異なりますので、インストールされている方をご覧ください）。

VALUESTAR

本製品を
ご購入いただいたお客様へ

初版　2010年9月
NEC
853-810924-536-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032　東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎ウエストタワー）